Creative Enzymes®

ヒト由来の野生型デオキシシチジンキナーゼ、再組換え

Cat. No. NATE-1695

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	デオキシシチジンキナーゼ (dCK, EC:2.7.1.74) は、デオキシリボヌクレオシドであるデオキシシチジン (dC)、デオキシグアノシン (dG)、およびデオキシアデノシン (dA) のリン酸化に必要です。dCK は広範な基質特異性を持ち、基質のキラリティに基づく選□性を示しません。また、抗ウイルス剤や化学療法剤として広く使用される多くのヌクレオシド類似体のリン酸化にとっても必須の酵素です。
別名	ヒトDck; WTヒトdCK

製品情報

種	人間
由来	E. coli
形態	液体
EC番号	EC 2.7.1.74
CAS登□番号	9039-45-6
分子量	~31 kDa
純度	>99% (SDS-PAGE)
活性	6 IU/mg タンパク質
濃度	4.6mg/Ml
緩衝液	25 mM ヘペス pH7.5、200 mM ナトリウムシトレート、10% グリセロール、5 mM DTT、1 mM EDTA。
単位定義	WTヒトdCKの1ユニットは、pH 7.5、37°Cで、200 μMのdCと1 mMのATPを用いた連結酵素系によって測定され、1分あたり1.0 μmoleのdCとATPをdCMPとADPに□換します。

保管・発送情報

保存方法	-80 °Cで